

環境が人を育てる 自然な挨拶ができる集団に

【PTA役員会で話した内容をお伝えします。】
2年生の修学旅行が無事終了しました。とても充実した旅行でした。すぐーるのタイムラインでお伝えしていたので、詳細な説明は割愛します。

修学旅行の解団式で、代表生徒の大半が話題にしたのが、「薬師寺での説法」でした。話が上手で、挨拶という身近な話題が、生徒の心に響いたのだと思います。余談ですが、仏陀、キリスト、マホメット、親鸞や日蓮も、こんな風に話し上手で、人の心を掴んだから教えが広ったんだろうなあと思いつつ、話を聞いていました。

私自身、この説法の内容で最も共感したのが、「個人の努力も大切。しかし、もっと大切なのはその人が属する集団の環境。環境次第で、その人の成長が大きく左右される。お互いに応援し、何でも挑戦できる雰囲気大切で、その鍵となるのが挨拶。」という内容でした。

授業や行事等での様子を見てみると、本校では、互いに応援し何でも挑戦できる雰囲気は、ある程度できていると自負しています。薬師寺のお坊さんも、そこは感じ取ってくれたのでしょうか。互いに応援できているいい集団だと、褒めてくださいました。

薬師寺での説法での話題の中心となった「挨拶」。先日もお伝えしましたが、熊大を訪問した時に、小川学長から附中生へ送られたメッセージも「挨拶とコミュニケーション力」でした。薬師寺と熊大、それぞれで挨拶を取り上げるということは、社会では挨拶が大切でコミュニケーションの



薬師寺での説法



基本だということ、肌で感じていらっしゃることの現れでしょう。

挨拶という視点から本校生徒の様子を見てみると、自然で気持ちいい挨拶ができている生徒はいます。しかし、互いを応援し何でも挑戦できる雰囲気を持っている集団にしては、自然で気持ちいい挨拶をする生徒が少ないと思っています。というより、意識が足りないのでしょうか。

まずは、気持ちいい挨拶をしようという意識を高めて、やっていくことが大切です。良きにつけ悪きにつけ、行動を続けていけば、その行動は「習慣」になります。間違いなく、良い習慣はその人の人生を豊かにしてくれます。自らの人生を豊かにするためにも、他者とのよい関係性をつくるためにも、この附属中で自然で気持ちいい挨拶ができる習慣を身につけてほしいと願っています。

今後、自然で気持ちいい挨拶が当たり前になる集団になるべく、全職員一丸となって、生徒と共に、本気で挨拶向上に取り組んでいきます。是非、家庭でも話題にしてください。

12月4日の昼休みの光景

昼休みの運動場の様子です。多くの生徒が、楽しそうに遊んでいました。

私も見ていただけで楽しくなって、時間を忘れて眺めていました。中には、男女一緒になって、みんなで「けいどろ」を楽しんでいるクラスも。本日の昼休みに見かけた、のどかで幸せな光景でした。

